

31・税金を節約してください (2006.3)

私の住む横浜で三月二十六日に市長選の投票が行われるが、過日選管が翌日開票を発表した。横浜は今年、一般予算で二百五十億円の収支不足が見込まれるので、即日開票のために必要な職員の超過勤務手当三千二百万円を削減したための決定である。

やはりいつもの事ながら反対の批判が直ぐに出てきた。総務省からは「可能な限り即日開票がよい」。どうやら横浜の決定が他へ影響することを心配したらしい。他には「結果を早く知るのは民主政治の重要な価値」などなど。

しかし、今回の選挙でかかる税金は何と十一億四千五百万円、凄い！ 厳しい財政ならば迷うことなく三千二百万円を節約すべきだと思う、更に節約する案を練って欲しいものだ。金が大変掛かるということを肝に銘じ、税金を正しく使う政治をしなかったために、今や国の財政は七百七十兆円という世界最大の負債国になってしまったではないか。三千二百万円は大金だ。ここは他の自治体も国も真摯に検討すべきだと思うが・・・。

32・やはり国民は心配している (2006.3)

投票率35.3%ということは、横浜市の有権者は約二八六万だから約百八十五万人が投票しなかったことになる：x x ○ △ ・ x ▼ ○ x ・ まあ、いいか：。中田宏氏（四一才）が投票数の八四%という過去最高の得票数で再選された、圧勝である。何としても即日開票か、あるいは翌日かの世論調査をしたようだが、結果は性別、年代別、職業別のいずれも翌日賛成が約九十%だったそうである。

総務大臣や県知事が速報の重要を理由に批判したが、何か空しく感じる。さらに、例え翌日開票にしても十一億円以上もの税金が使われるわけだが・・・庶民の私に詳細は分かりようがないが、何か大幅削減の方法はないのだろうかと思ってしまう。

むかし現役時代、会社の経営が厳しい時には鉛筆、消しゴムを中古品、コピーは一度使用したものの裏使用、必要ない場所や昼休み時間の消灯、蛍光灯数の間引き、出張や残業規制など。倒産しては大変と一致団結でやったことを思い出す。税金が増える時代ではないから、ここはやはり節約しかないと思う。

33・WBCチャンピオンおめでとう、感動をありがとう (2006.3)

冬季オリンピックに続きWBCで盛り上がり、野球好きの者にはたまらない春であった。多分世界一を決める国際試合ということで、日頃野球を余り観ない人もオリンピック同様日本ガンバレで大いに盛り上がったのだと思う、これは最高視聴率五十%を超えたことが証明している。審判に無性に腹が立ったり、韓国に2連敗、ほぼ百パーセント近く諦めていたところ何とアメリカのまさかの敗

退。日本は崖っぷちで片足浮いた状態から生還し、今度は韓国に完勝し、更にあのキューバに快勝するとは何とまあ・視聴率も上がるわけだ。それにしても韓国は強かった。六連勝、負け無しだった韓国としては、これまた何とも言いようの無い気持ちだと思う。日本がチャンピオンになった後、韓国の球界幹部のある人が言ったそうである「日本は恥ずかしい優勝だ、もう一度韓国と勝負してはどうか」と・気持ちは分かるが指導者が口に出して言ってはひんしゆくこの上ない。韓国の国民はこれを聞いてどう思ったのだろうか。やはり、勝っても負けてもスポーツマンシップが大切ではないだろうか。

34・ネット議論を垣間見てビックリ (2006.3)

爺放談一斬る(一)世の中の不条理を訴え、明るい話題を提供する、皆で考えるメルマガ)という割合辛口なメルマガを一年ほど前から読んでいます。それによると最近ネット上で、荒川静香さんのフィギュアスケート表彰式中継したNHKに関する事で議論が白熱していることを知った。その一部は次に添付することくである。

■引用させていただこう。日本の荒川静香選手の金メダル戴冠に際して、多くの祝福の声が寄せられた事は、皆様の記憶に新しいかと思えます。しかし、甚だ残念な話ながら、そのような市居の一般人の心情を踏みにじるような、あからさまな情報操作が行われていたという事実を知る人は、意外と少ないのではないでしようか。(かく言う私も、つい先日、知ったのですが) 何と、日の丸を胸にしたウイニングランのシーンを、NHKは意図的に放映しなかったのではないかとの指摘である。

■読者氏からのメールには、そのウイニングランの写真が載ったホームページが紹介されていた。それを 見て筆者も驚いた。実に感動的な写真が載っている。シドニーでの高橋尚子選手のウイニングランのシーンが思い出される。

■果たしてNHKが意図的に抹殺したのかどうか定かではないが、上記写真を見ると、何故放映されなかったのか一抹の不安が残る。とんでもない文部科学相に続いて、今度は日本スケート連盟の会長や専務理事の不明朗支出が出てきた。純真な乙女が血と汗で得たお金を、大人がネコババするなんて実に恥ずかしい。やはり今の日本は、どこかおかしい。

以上のような概要であるが、添付の写真を見て感動した私は、やはり納得がいかないでNHKにメールを出すと次の回答が直ぐに来了。どうやら問い合わせが多いためにマニュアルが出来ているようだ。

・・回答・・

NHKの放送をご覧いただきまして、ありがとうございます。

二月二十四日のフィギュアスケート・女子シングル・フリーの生中継に関するお

便りをいただきましたので、お答え申し上げます。

日本選手がいま一步奮わなかった中で、荒川選手の金メダルは、本当にうれしいニュースでした。NHKでも翌日の放送予定を急ぎ差し替え「NHKスペシャル荒川静香 金メダルへの道」を放送するなど、放送を通して荒川選手の偉業を広くお伝えしました。

御指摘の「荒川選手が日の丸を掲げて滑ったウイニングランがNHKの中継に映っていないかった」という点ですが、お答えにあたり、五輪中継の仕組みを簡単にご説明します。

オリンピックでは、大会主催者がテレビの中継映像を制作して世界各局の放送機関に配信します。これを「国際信号」と言います。各局は、この国際信号に自国語の実況・解説をミックスして放送をします。こうした方法は、世界的に人気の高いスポーツ大会では広く採用されています。日本の放送では、NHKと民放が共同チームを作って現地で実況・解説を付加し、それを各局が使って放送しました。

今回、荒川選手が日の丸を持ってウイニングランをしたのは表彰式の終了後でしたが、生中継の中では、この模様をお伝えできませんでした。それは、競技や表彰式そのものが終了したため、おおもとの国際信号の配信が終わったためです。NHKでは国際信号の最後までずっと放送しており、この模様が入っていれば当然放送しています。

生中継の中ではお伝えできませんでしたが、NHKでは、当日二十四日の正午のニュースで荒川選手が日の丸を観客席に掲げて滑る姿をお伝えしましたし、二十七日に放送した「ニュース10」の中のトリノ五輪ハイライトのコーナーでも荒川選手が国旗を掲げて滑る姿をお伝えしました。またNHKでは、当日の午後七時からの「ニュース7」など荒川選手の金メダル獲得を伝えるニュースで、荒川選手が日の丸の旗を手に関係者と喜んでいる映像も放送しており、日の丸の映像を放送しなかったということは全くありませんので、ご理解ください。

NHKでは、これからも、スポーツの迫力と感動を皆様にお伝えするため、一層、力を入れて参ります。来るワールドカップ・サッカー・ドイツ大会でも、日本戦のうち、注目の第一試合のオーストラリア戦と第三試合のブラジル戦などを総合テレビで生中継します。衛星放送では、BS1とBSハイビジョン合わせて全六十四試合を生中継する予定です。

今後とも、NHKの事業にご理解・ご支援を賜りますようお願いいたします。お便りありがとうございます。

NHK視聴者コールセンター

ネット上の議論を見るとシンガポール在住、アメリカ在住のある人は荒川さんの国旗を持ったウイニングランをテレビライブで観たということである。しかし、それが百パーセントライブだったのか編集されたものかは、今だ私も確信がもてない。また、NHKがニュースで流したとされる映像をネット上で観たが、極めて短時間でそれほど感動的ではなかった。

私はNHKに再度質問をした。「私はあの感動的な場面で、NHKがあえてライ

ブ映像をカットしたとは思いません、NHKを信じています。しかし、海外から視聴したとの情報があるのはどうゆうことでしょうか。また、ドラマはいつ何処で起こるか分かりませんが、国際信号とは別のNHKのカメラで百パーセント取材し、日本唯一のメダルであった、あの時の感動を国民に伝えてもらいたかった。伝えるべきだったと思います。もし、この準備が無かったのなら失策といえるのではないのでしょうか

NHKにメールしてから随分経つが回答は来るのか来ないのか、多分マニュアルからは少し外れた回答になるので来ないような気がする。

今回のネット議論を読んで感じることは、失礼な言葉遣いで誹謗、中傷を浴びせる書き方は実に見苦しいと感じた。やはり議論は礼節 謙譲の精神でやってもらいたいものだ。

35・故郷の春 (2006.5)

今年もゴールデンウィークがあつと言う間に過ぎてしまったが、現役のころ五月の連休、夏休み、年末年始の休暇は格別であった。五月の良い季節の連休だからゴールデンウィークと呼ばれるのだとばかり思っていたが、現役を退いた私にこの名前は適当なのだろうかと思ひ、語源をチェックしてみた。

1951年のこの時期に「自由学校」という映画が上映されたらしいが、これが何と正月やお盆の興行よりヒットしたので、大映の専務が今後とも映画を観てもらいたいと願いを込めて造った和製英語とのことだ。どうやら若い時から映画ファンを今でも続けている私にもゴールデンウィークはびつたりのような気がした、と同時に一度「自由学校」を観る必要があると思つた。

今日は母の日、ついでにこの語源もチェックした。1905年五月九日、アメリカのアンナ・ジャービスという少女が母を亡くし、母が生きているうちに母を敬うようにしようと呼びかけたのが由来らしい。アメリカでは1914年に、五月の第二日曜日が「母の日」として祝日になったとのこと。日本では1937年ごろより全国的に広まったようだ。

母の日のカーネーションは、アンナの母がすきだったカーネーションを祭壇に飾ったことから、母の日に贈る習慣になったそうだ。若い頃に母が逝って三十三回忌も数年前に過ぎたが、残雪と桜の田舎に行つて墓参りをしてきた。近年まれな残雪と桜のハーモニー、足元には水仙、すみれ、柴桜、ふきのとう、川に行くのと冷たい激流で、流水との一瞬の出会いが面白かった。故郷はいいものだともまた思つた。